

誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して

臨時号 2017年4月14日発行

# 社協だより

「社協とは、社会福祉協議会の略称です」

## 3.11 災害に強い地域づくり講演会



古河市社会福祉協議会  
マスコットキャラクター  
「ももちゃん」

社会福祉法人 古河市社会福祉協議会

〒306-0044 茨城県古河市新久田271-1 (古河福祉の森会館内)  
TEL 0280-48-0808 FAX 0280-48-0119

URL <http://www.koga-syakyo.com/>

# 会長就任あいさつ



社会福祉法人  
古河市社会福祉協議会  
会長 針谷 力

写真:古河市総合公園

平成29年2月1日に開催されました古河市社会福祉協議会理事会において選任され、会長職に就任いたしました。

福祉の重要性が増してきている現在、市民の皆さまはじめ、行政、地域の様々な団体と協働し「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」の推進に努め、社会福祉の向上と本会使命達成のため邁進する所存であります。

皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 基本方針

古河市社会福祉協議会の進むべき指針となる「古河市地域福祉活動計画」が実施から3年目を迎え、また、「古河市社会福祉協議会経営改善計画」が2年目を迎えます。中間期年度として事業の評価を行うとともに、「基本目標」に基づき各種事業に取り組んで参ります。

近年、少子化、高齢化、核家族化の進行や個人のライフスタイルの多様化等により、家族や地域でお互いに支え合う機能が弱まり、地域住民相互の社会的つながりが希薄になっている反面、各地での災害発生以降、「助け合い・支え合い」が改めて必要だと市民の認識が高まりつつあります。本会では、その「助け合い・支え合い」の核となる、「地域福祉」を推進する団体として、「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」という目標に向かって、役職員が一丸となり「市民から必要とされる古河市社会福祉協議会」を目指します。

## 基本目標

1. 助け合い・支え合いの仕組みづくり
2. みんなで支え合う人づくり
3. 多様な主体による地域福祉活動の活性化
4. 必要とされる社会福祉協議会づくり

# 自分のまちの応援団



(敬称略・順不同)

○寄付をいただいた皆さんをご紹介致します 平成29年1月～2月

## ○寄付金

氏名・団体名	金額
沢れい子後援会ドリーム会古河支部	33,127円
社会福祉法人愛和会希望の森	5,824円
㈱ベルク駒羽根店お客様一同	1,107円
下山郵便局(募金箱)	6,155円
ワークマン総和店(募金箱)	6,427円
古河市体育協会	38,434円
読売古河販売	11,400円
古河みずほ会	22,874円
古河しのぶ	22,502円
瀬下 英一	10,310円
匿名(4名)	6,532円

## ○寄贈

氏名・団体名	物品
あいおいニッセイ同和損保㈱	車椅子1台
大山 勝	紙おむつ、お尻拭き
匿名(3名)	チャイルドシート(中古)1台 折り紙150枚、お手玉 缶バッジ、車椅子(中古)1台 大人用紙おむつ

## ○収集ボランティア

・使用済切手・使用済プリペイドカード・書き損じハガキなど

氏名・団体名	
総和ボランティアサークル	石島 知恵子
日本バイリーン㈱	田所 浩美
㈱イーエス商会	森田 昭二
カーネーション	戸山 悦子
(有)栗田製作所	成瀬 育子
陽だまりの会	渡辺 和司
㈱HHC	



あいおいニッセイ同和損保㈱様

古河市体育協会様

沢れい子後援会ドリーム会古河支部様

で寄付をいただき誠にありがとうございました。

「社協だより」に広告を掲載してみませんか!

☆広告サイズ

①縦42mm×横175mm ②縦42mm×横82mm

☆広告掲載料1号(1回につき)

①25,000円 ②13,000円

※この枠内が①の広告サイズです。

☆注意事項

※表紙・裏表紙を除く各ページの最下段で、2色刷(社会福祉協議会指定)となります。

詳細につきましては、社協ホームページ新着情報またはお問合わせください。

URL:<http://www.koga-syakyo.com>



## 3月11日災害に強い地域づくり 講演会を開催しました

講師に陸前高田市被災地語り部 くきこ屋 主宰 釘子明氏をお招きし『東日本大震災の経験から次の災害に備えるために』をテーマとし、災害時前の陸前高田市の映像、災害時の映像、現在の映像が流され、また、先生の貴重な体験をお話していただき、地域で生きる一人として、自ら、そして共に、防災・減災に対する備えの重要性をご講演いただきました。



参加された方から、「行政に頼るのではなく、自分たちで考え、自分たちができることを、自分たちで始めていくことの大切さを改めて感じた」「実際に起きたことに向き合う姿を通し、自分自身が何をすべきか、どう行動していくか考える機会になった」など、災害時の日頃の備えや意識の重要性を学ぶことができました。

### <参考にして下さい>

避難バックの中身(最低限準備しておくの良い物)

- ・水
- ・お薬手帳コピー
- ・飴(空腹時を満たしてくれるため)
- ・サランラップ(お皿代わりになるため、また、水の節約にもなる)
- ・印鑑(通帳を作成するため必要)



※靴は枕元に・避難バックは玄関に！

## 社協職員研修

2月5日(日)

地域包括ケア時代における社会福祉協議会の役割と課題について、茨城県ケアマネジャー協会副会長の浅野有子先生をお招きして職員研修を行いました。

高齢化社会をむかえ、住み慣れた地域で誰もが安心して生活できる様に包括的・継続的に支援していく必要があると改めて、社協の役割について再認識することができました。



## 災害ボランティアセンター 設置運営研修

2月19日(日)

災害時の対応力強化を図るため、茨城県社協防災活動アドバイザーの米澤智秀先生をお招きして、災害ボランティアセンターの設置運営について職員研修を行いました。

災害ボランティアセンター運営役とボランティア活動者役に分かれて、ボランティアの受付から送り出しまでのロールプレイを行い、実際の災害現場でどのように行動すれば良いのか考える機会となりました。

今後も職員一同、スキルアップを図るため研修を重ねていきます。



## 嘱託職員募集

職 種	・介護支援専門員・保健師 ・看護師・社会福祉士
採用予定人数	若干名
勤務内容	居宅介護支援事業所または、 地域包括支援事業所の業務全般
応募資格	主任介護支援専門員・看護師・社会福祉士 介護支援専門員・保健師の有資格者 普通自動車免許所持者(A T 限定可)
勤務時間	平日勤務(月曜日～金曜日) 午前8時30分～午後5時15分
賃 金	職員規程による
応募方法	市販の履歴書(写真貼付・本人直筆) 資格者証の写しを添付
申込み・問合せ先	地域福祉課 総務係 TEL 0280-48-0808



## お詫び

社協だより第33号9ページ『共同募金運動にご協力いただいた皆様』において、掲載漏れがありました。

上大野小学校様  
報告させていただくとともに、お詫びいたします。

古河市社協の新しい情報は、ホームページの最新情報をご覧ください。

URL <http://www.koga-syakyo.com/>もしくは、古河市社協



社協だよりは、皆さまからご協力いただいた共同募金の配分金により発行しています。

